

令和5年度 第2回富山市障害者自立支援協議会（全体会） 会議録

日 時：令和5年12月18日（月） 14：00～15：00

場 所：Toyama Sakura ビル501会議室

出席者：高 城 繁 委員、宮 田 徹 委員、石 田 陽 一 委員
吉 田 勉 委員、大 西 貞 夫 委員、長 澤 正 雄 委員
西 田 弥 佳 委員、中 井 義 則 委員、土 肥 裕美子 委員
野 口 雅 司 委員、井 波 博 典 委員、前 島 靖 彦 委員
中 島 昌 未 委員、塚 原 久 永 委員、稲 村 睦 子 委員
中 田 隆 志 委員（代理 青木誠之助 富山市手をつなぐ育成会副会長）

欠席者：吉 本 博 昭 委員、山 村 敏 博 委員、舟 坂 雅 春 委員
橋 本 英 徳 委員

事務局：片山 福祉保健部次長、竹井こども家庭部次長、
西田 障害福祉課長、高畑 こども健康課長、丸本 保健予防課長、
恒川 障害福祉課主幹、樋口 こども健康課長代理、
深山 障害福祉課副主幹、永野こども健康課副主幹
荒井障害福祉課医療係長、田村 障害福祉課自立支援係長

市委託相談支援事業所等：

自立生活支援センター富山、富山市恵光学園、セーナー苑 We ネット、
あすなろセンター、和敬会生活支援センター、
富山市障害者福祉センター基幹相談支援室

議 題：

- 1 第7期富山市障害福祉計画及び第3期富山市障害児福祉計画について
- 2 その他

（会議資料）

- 1 富山市障害者自立支援協議会委員名簿
- 2 座席表
- 3 関係資料

議事概要：

- 1 開会
- 2 議事

委員などの発言要旨：

開 会

(会 長)

それでは議題に入らせていただきます。

今年度第2回目の富山市障害者自立支援協議会でございます。今回の会議は、「第7期富山市障害福祉計画及び第3期富山市障害児福祉計画の策定」についてでございます。

【第7期富山市障害福祉計画及び第3期富山市障害児福祉計画の策定について】

事務局より各計画の素案について説明

【質疑・意見等】

(委 員)

地域生活支援拠点等についての整備についての記載や、富山市障害者自立支援協議会において、その運用状況の検証や、検討についての記載があるが、現在の整備状況はどのような状況なのか。登録している事業所はどれだけあるのか。

(事務局)

富山市では、令和5年4月1日より地域生活支援拠点等を整備したところであり、現時点では5つの法人が運営する13事業所の登録がありますが、登録事業所はそれ以降増えていない状況です。

(委 員)

地域生活支援拠点等の役割の中に、「緊急時の受け入れ・対応」がある。在宅の重度の障害者の場合、そのような場合の受け入れサービスとして「短期入所」は大変重要なサービスであると考えている。

コロナ等の理由で受け入れができないといった状況もあるが、本来は必要な時に電話一本で利用できるような環境が必要であると思う。

(委 員)

地域生活支援拠点等については重要なものであり、期待しているところである。

ただ、単に短期入所の事業所が増えればよいというのではなく、様々な機関が連携して支援できる体制の構築が重要であると考えている。

(会 長)

地域生活支援拠点等の事業所登録が、なぜ伸び悩んでいるのかということ行政でも今後検証していくことが必要であると考えます。

(委 員)

障害福祉計画の中で、施設入所者の地域生活移行者数についての目標値が設定されているが、今回の素案の目標値は、現計画の目標値からかなり低くなっているがなぜか。

(事務局)

地域移行者数の目標値について、第6期の計画においては国が示す指針に合せた数値目標を設定いたしました。現状とかなりの乖離がありました。

今回の第7期については、国の指針では更にそれ以上の目標値を掲げていたのですが、本市の現状を勘案しそれに合った目標値としたところです。

(委 員)

医療的ケアを必要とする児童の状況ということで、市が把握している人数は88人とあるが、これは児童だけであり、障害者は含まれていないということでしょうか。そうであれば、障害者で医療的ケアを必要とする者の数は把握しているのか。

(事務局)

これは児童だけの人数であり、障害者で医療的ケアを必要とする者の数は把握しておりません。

(会 長)

今回の計画については、理念的なものを定めるものではなく、サービスの見込量や成果目標を定めるものであるが、それらを達成するためにも地域での支援体制の整備に引き続き努めてもらいたい。

何かほかにご質問などございますでしょうか。

それでは以上で本日の議題はこれで終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。

閉 会